

Q13 Question

分類法Ⅱでは、1つひとつの領域はどのように分かれていますか？

Answer

Key words

- 類
- 健康自覚
- 栄養
- 吸収

領域の下の分類が、「類」です。『NANDA-I 看護診断 定義と分類 2007-2008』の1～9ページの目次を見ながら説明していきましょう。領域1の「ヘルスプロモーション」には、類1、類2の2つがあります。類1は「健康自覚」で、例えば糖尿病あるいは急性心筋梗塞などの疾患について患者さんがどう受け止めているかをみるところですが、看護診断名はまだ採択されていません。類2は「健康管理」で、患者さんが自分の健康問題をどのように自覚して、どのように行動変容しているか、あるいは行動変容ができないのかというところを見ていくものです。

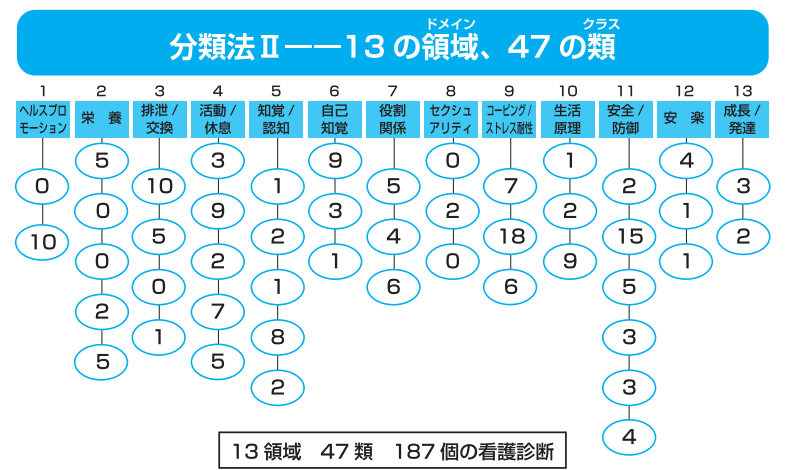
領域2の「栄養」の領域の下には「摂取」「消化」「吸収」「代謝」「水化」という5つの類があります。私は類のことを“引き出し”と呼んでいます。それぞれの引き出しの中には、いくつかの看護診断名が入っていると考えてください。「ああ、これは栄養問題だ」と推論できたら、次は「どの引き出しに適切な看護診断名が入っているんだろう」と考えていきます。類2の「消化」と類3の「吸収」には看護診断名はまだ採択されていません。

Key words

排泄と交換

領域3の「排泄と交換」には、「泌尿器系機能」「消化器系機能」「外皮系機能」「呼吸器系機能」と4つの類があります。ヒトの体では、「排泄と交換」が4カ所から行われていることが分かります。非常に分かりやすい看護診断分類法であり、領域と類は看護の視点をフォーカスさせるのに役立ちます。

領域4以下はご自分でご覧ください。それでは、この13領域の下部組織である47の類の引き出しの中には、いくつぐらい看護診断が入っているのでしょうか。『NANDA-I 看護診断 定義と分類 2007-2008』の1～9ページを見ると、下部組織である引き出しの中身の数分かります。しかし、中身が0の引き出しが6つあります。



出典：NANDA-I 看護診断定義と分類 2007-2008, p340-341 より改変